

愛媛県第2次がん対策推進計画「相談支援」に関する中間評価(案)

第2次計画 最終目標 (2013年4月～18年3月)	第2次計画に掲げた「今後の取り組み」 (14項目)	第2次計画に掲げた「今後の取り組み」の 前半(2015年7月)時点での進捗状況・評価	最終目標達成のための アクションプラン(～2018年3月)
<p>(1)最終目標: がん患者とその家族の悩みや不安を汲み上げ、患者とその家族にとってより活用しやすい情報提供及び相談支援体制を実現する。</p>	<p>(1)行政を中心とした取り組み: ○ピアサポートに取り組む患者団体のノウハウ活用、拠点病院相談支援センターとの連携体制の整備 ○県がん相談支援推進協議会が中心となって、患者支援ツールを作成する ○県は、ピアサポート活動などを積極的に支援する ○県がん相談支援推進協議会が中心となって、全市町へのがんサロン設置にも留意しながら、県民本位の相談支援体制の整備に努める ○県及び医療機関は、医療機能情報提供制度で、医療情報をわかりやすく提供していく ○行政・拠点病院等の各レベルで、より効率的・効果的な(情報提供と相談支援)体制構築を進める ○行政等は、ピアサポートを推進するための研修を実施するなど、がん患者・経験者との協働を進める (2)がん診療連携拠点病院を中心とした取り組み: ○(拠点病院連携協議会の)相談支援分科会で、地域の療養情報の愛媛県版を作成 ○四国がんセンターは、「がん患者・家族総合支援センター」を整備し、本県のがん対策の中核的機能を担う。 ○(拠点病院の)相談支援センターの機能強化を図る ○拠点病院の、相談支援センターの機能拡充などの取り組みを、県は支援する ○拠点病院は、特に精神的苦痛を持つ患者家族に対し、専門家による診療の提供に努める ○拠点病院は、相談支援センターにがん対策情報センター等による研修を修了した専任者を複数人配置するとともに、院内外や地域からの相談に対応する体制を整備する</p>	<p>・病院サロン担当者ピアサポーターによる意見交換会の開催 (2014年度第1回開催、以降継続予定) ・国の補助金を活用し、市内中心部での常設サロン「がん向き合う人のための町なかサロン」を運営するNPO法人愛媛がんサポートおれんじの会を支援(2012年7月～) 拠点病院でのサロン開催に関して、ピアサポーターを派遣 (NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会へ委託)実施医療機関:四国がんセンター、愛媛大学病院、松山赤十字病院、愛媛県立中央病院、市立宇和島病院 それぞれ1回)</p>	<p>最終目標達成のためのアクションプラン(～2018年3月) 指標についての施策 (1)患者満足度調査 (2)拠点・推進病院の相談支援窓口実態調査 (3)「相談できる場所」を知らせるチラシなどのツール作成及び具体的な配布方法の検討</p>
<p>(2)目標達成のための指標: 1) 県内のすべてのがん患者家族が、初診から最初の治療の期間中までに、主治医らの説明によって「相談できる場所がある」と知ることができること 2) 県内のすべてのがん患者家族が、必要な情報提供と相談支援が受けられ、「治療や生活について納得のいく選択ができた」と感じられること</p>	<p>○県がん相談支援推進協議会が中心となって、全市町へのがんサロン設置にも留意しながら、県民本位の相談支援体制の整備に努める ○県及び医療機関は、医療機能情報提供制度で、医療情報をわかりやすく提供していく ○行政・拠点病院等の各レベルで、より効率的・効果的な(情報提供と相談支援)体制構築を進める ○行政等は、ピアサポートを推進するための研修を実施するなど、がん患者・経験者との協働を進める (2)がん診療連携拠点病院を中心とした取り組み: ○(拠点病院連携協議会の)相談支援分科会で、地域の療養情報の愛媛県版を作成 ○四国がんセンターは、「がん患者・家族総合支援センター」を整備し、本県のがん対策の中核的機能を担う。 ○(拠点病院の)相談支援センターの機能強化を図る ○拠点病院の、相談支援センターの機能拡充などの取り組みを、県は支援する ○拠点病院は、特に精神的苦痛を持つ患者家族に対し、専門家による診療の提供に努める ○拠点病院は、相談支援センターにがん対策情報センター等による研修を修了した専任者を複数人配置するとともに、院内外や地域からの相談に対応する体制を整備する</p>	<p>えひめ医療情報ネット ピアサポーター養成研修事業の実施 (NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会へ委託 2009年から継続 ※回開催 ※人受講) 愛媛の療養手帳作成。配布 → 確認中</p>	